

クリスマスえほん

いちばんはじめの

おくりもの

なかにし きよこ・さく いもと ようこ・え



いちばんはじめの
おくりもの

ななむら ともこ・あき いせと ようこ・え



女子/竹久昌

サムのおとうさんは、ひつじかいです。
おかあさんは、サムが ちいさい ときに、
なくなりました。

「サム、この こひつじは けがを して いるから、
なおして おやり」
「はい、おとうさん」



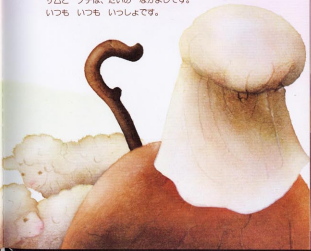


「いたいけど、ちょっと がんばるんだよ。
おとうさんは、ほくが けがをした とき、
いつも こういうんだ」
サムは、こひつじに プチと、 なまえを つけました。
そうして プチの けがは、
だんだん よく なって いきました。





サシと プチは、だいの なかよしです。
いつも いつも いっしょです。



それは、12がつの さむい よるでした。
サムが、ねむりかけた とき、
プチが、ひくと ふるえて おきあがりました。
「どうしたの？」
ほく ほく ほく……
「おやっ！ あしあとだ！」





「どれだろう？」
「やさしそうな おんなの ひとだなあ。
ぼくの おかあさんだったら、いいのになあ」

